

前回の講義の復習

I. 論文とは?

1.論文には審査(査読)があります。

2.知的好奇心(疑問)を持つ

→なぜ、どうして????? 科学の出発点

→自分への関心を持つ, 家族への関心を持つ, 社会への関心を持つ

3.審査を通すためには

ポイント 1. 論文は、何を書くのかということよりも、どの様に書くのかということが大切。

ポイント 2. 論文を読む人は疲れています!!!

ポイント 3. 最初の 15 秒-30 秒が勝負

ポイント 4. 規則を守る必要があります(語調, 引用など)

ポイント 5. 読んでくれる人に対してお土産を意識する。小論文: 小さなお土産

ポイント 6. 論文はプレゼンテーションです

II. 論文の書き方

1. 「問い」がある

明確な問いを立て、それを解決することを目指す。

2. 「主張」がある

「主張」とは、問いに対する答え。Yes or No。言い切る勇気。あっているかどうかはわからない。

3. 「論証」がある

自分の答えを相手に納得させる必要がある。お土産はここ。

「論証」とは、自分の主張(答え)を論理的に支持する論拠を効果的に並べる。

III. 論文には型がある

1. 「問題提起」→問題の提示と説明

2. 「主張」→自分の考えについて意思を持って書く

3. 「論証」→問題提起・結論・論証(直線的に考える)

4. 「まとめ」→もう一度、わかったことを一言でまとめる。

演習：小論文を書こう！：ワークシート

麗澤大学 経済学部

小論文試験には、いくつかのパターンがあります。

- ・課題が与えられていて、高校または自宅で作成した上で、提出する。その上でプレゼンテーションをして、面接を受ける。
- ・講義を聴いた上で、その講義に関して論点と自分の意見をまとめる。
- ・課題文を読んだ上で、その論点と自分の意見をまとめる。

[本日の講義]

別紙の3つの文章の中から、自分が関係しそうな課題を一つ選び、あなたの意見を600字以内でまとめなさい。

課題1：日本国憲法改正問題

課題2：ジェンダー

課題3：少子高齢化

今から講義をします。

1. メモをとりましょう
2. 論点を抽出しましょう
3. 自分の意見を決めましょう
4. 小論文にまとめましょう

試験時間を有効に使いましょう

型を意識しましょう

1. 「問題提起」
2. 「主張」
3. 「論証」
4. 「まとめ」

1. メモをとって, "見える化"しよう! (マインド・マップ)

講義を聞きながら, メモをとって"見える化"してみよう

2. 「構成ノート」を使って、アウトライン化しよう！

1 : テーマの確認: 戦略を決める

- ・ 何が問題であるのか, 論点を一言で書こう(問題提起)。論点を整理した後に書くという方法もあります。

--

- ・ 自分の「主張」を表明しよう。ここで「結論(まとめ)」も決めてしまう

--

2 : 論点を整理し, 自分の主張を意見してみよう(論証: Yes or No)

	論点	自分の意見: Yes or No
論点 1		
論点 2		
論点 3		
論点 4		
論点 5		

各パラグラフで何を書くのかを整理しよう: 3 or 4 つのパラグラフで書こう

問題提起

主張

論証

まとめ

ジェンダー問題について

課題.

日本は、世界の中でも、女性の政治への進出が遅れている国だと言われています。たとえば、日本の国会議員における女性の割合は一割に過ぎず、主要先進国の中でも最低となっています。

そこで、政治における男女平等の実現を目指して、日本でもクォータ(割り当て)制を導入して、国会議員や閣僚、公的機関の委員などに一定割合の女性枠を設けようとする動きがあります。

このことについて、あなたはどうか考えますか。600字以内で論じてください。